

令和8年度豊川市地域福祉計画推進委員会 議事録

日時:令和8年7月22日(水)

場所:豊川市中央図書館集会室

出席委員:川島ゆり子委員、尾浦陽司委員、西本全秀委員、足木あけみ委員、山崎敏幸委員、櫻井義之委員、野村公樹委員、中村由香委員、尾上貴志委員、豊田恵子委員、瀬戸川潔委員、工藤明人委員、鈴木奈穂美委員、木村晋也委員、清水一史委員

豊川市事務局:林次長、木内課長、浅見補佐、松尾補佐、岩田補佐、大村補佐、若生補佐、杉本補佐、村川

社会福祉協議会事務局:長畑次長、田中課長、小川補佐、柿田真主査、柿田一主査、山本

豊川市事務局(村川)

事前にお送りしています資料の確認をお願いいたします。(事前資料:豊川市地域福祉計画本冊、次第、委員名簿、委員会設置要綱、資料のご案内、資料1から資料8)当日資料は、席次表、資料9です。また、資料の修正があります。事前に送付した資料2の1ページ目の5「令和7年度の取り組み内容」は正しくは、「令和8年度の取り組み内容」です。

それでは定刻を過ぎましたので、ただいまから令和8年度地域福祉計画推進委員会を開催させていただきます。私は豊川市地域福祉課長の木内と申します。この先の議事進行は、本来であれば委員長が行うこととなりますが、昨年度の任期満了後初めての委員会であり、まだ委員長が選出されておられませんので、選出されるまでの間、私が進行をさせていただきます。なお、委員の過半数の出席がございますので、本日の委員会は成立をいたします。

それでは次第に沿いまして、会議を進めさせていただきます。

次第1 委員自己紹介でございますが、委員委嘱後本日が初めての委員会となりますので、委員の皆様一言自己紹介をしていただきます。名簿をご覧ください。

本日はご都合により名簿8番の牧野委員、名簿15番の山本委員が欠席をされております。

それでは川島委員から名簿順に一言ずつお願いをいたします。

各委員自己紹介

豊川市事務局(木内課長)

事務局につきましては、席次表のとおりです。続きまして、次第2「委員長及び副委員長の選出について」にうつります。お手元の豊川市地域福祉計画推進委員会設置要綱をご覧ください。委員会設置要綱第5条に、「委員会に委員長及び副委員長を置く。また、委員長

及び副委員長は、委員の互選により選出すること。」となっております。どなたかご意見はございますか

山崎委員

皆様、適任かと思いますが、初めてお目にかかる方もいらっしゃると思いますので、事務局に考えがあれば、お聞かせください。

豊川市事務局(木内課長)

ただ今、山崎委員から「事務局に考えがあれば」とのご意見がありました。

事務局といたしましては、委員長には、地域福祉政策に精通しており、昨年度まで委員長として委員会を取りまとめてくださいました、日本福祉大学の川島ゆり子委員、副委員長につきましても、地域福祉活動に精通しているという観点から、引き続き、地域福祉活動者の代表としまして、豊川市ボランティア連絡協議会の野村公樹委員が適任かと考えますが、いかがでしょうか。

委員 異議なし

豊川市事務局(木内課長)

ありがとうございます。

ご異議がないようでございますので、委員長を川島委員に、副委員長を野村委員にお願いいたします。早速ですが、委員長、副委員長はそれぞれの席へお願いします。それでは、代表して委員長より就任のご挨拶をお願いいたします。

川島委員長あいさつ

豊川市事務局(木内課長)

ありがとうございます。それでは、推進委員会設置要綱第6条第2項により、委員長が会議の議長となりますので、以降の会議の進行につきましては、議長、よろしくお願いいたします。

議長(川島委員)

それでは、議長を務めさせていただきます。3議題に移ります。

本日は、会議が円滑に進行するよう、みなさまご協力をお願いいたします。それでは、「議題(1)第4次豊川市地域福祉計画について①令和7年度進捗状況について」事務局より、説明をお願いします。

豊川市・社協事務局

資料1、2を使用し、4つの基本目標ごとに2項目ずつ取り組みを説明。(基本目標1「地域とつながる学びと交流の場づくりをすすめます」については、「1-2-3 世代を超えた地域の集いの場となる地域づくりの推進」及び「1-2-1 子育て支援センターの充実」を社協柿田真主査、豊川市子育て支援課松尾補佐により説明。基本目標2「助け合い支えあいのしくみづくりをすすめます」については、「2-1-2 健康づくり推進員養成講座」及び「2-2-2 地域福祉活動推進委員会への支援」を豊川市健康推進課岩田補佐、社協柿田一主査により説明。基本目標3「必要とする方に必要な支援が届くしくみづくりをすすめます」につい

では、「3-1-1 CSW の活動の充実」及び「3-2-2 介護・生活支援サポーター養成講座の実施」を豊川市地域福祉課浅見補佐、社協柿田一主査により説明。基本目標4「安全・安心に暮らすことができるまちづくりをすすめます」については、「4-1-2 福祉車両の貸出」及び「4-2-1 とよかわ防災リーダー等の育成」を社協小川補佐、豊川市危機管理課大村補佐により説明。）

議 長(川島委員)

ただいま、事務局から説明がありました。「①令和7年度進捗状況について」委員の皆様からご意見やご質問をいただきたいと思います。

西本委員

資料2の 26 ページ5令和8年度の取り組み内容の中に「不同意」とありますが、どれくらい不同意なのでしょう。

豊川市事務局(杉本補佐)

本日は数字を持ってきていないため、具体的な数字はわかりかねますが、おおよそ 50 パーセントくらいです。

工藤委員

資料2の 18 ページの日常生活自立支援事業について、社会福祉法、民法の改正により保健福祉事業が加わりますが、第 5 次地域福祉計画に反映するのかどうかを訊きたいです。また、資料2の 19 ページの「豊川市成年後見制度シンポジウム」について、今後も周知していくべきことだと思うので、継続して行っていただきたいです。

豊川市事務局(杉本補佐)

シンポジウムには 89 名の方が出席していただき、出前講座も 10 回行いました。継続して行っていきたいと考えています。

鈴木委員

22 ページの福祉車両について、常時 3 台で動けるように車両の購入を考えているのか訊きたいです。

社協事務局(小川補佐)

新しい車両の購入を考えています。昨年度は助成金の申請をしましたが、残念ながら不採用になってしまいました。引き続き助成金の申請を行っていきたいと考えています。

工藤委員

14 ページの包括的な相談支援体制の充実について、地域ケア会議がこういったタイミングで実施されているのか訊きたいです。また、課題の項目で業務を圧迫するとありますが、業務を圧迫する相談とはどんなものか知りたいです。併せて 15 ページの重層的支援会議で扱っているアセスメントについて、権利擁護に関するものもあるのか知りたいです。

社協事務局(田中課長)

年に 2 回会議を開催しています。第 1 回は上半期に実施し、地域課題の抽出を行っています。第 1 回の会議の内容を受けて第 2 回を下半期に実施し、こういった取り組みがある

のかを話し合っています。

業務を圧迫する件ですが、コミュニティソーシャルワーカーが高齢者だけでなく、障害者や児童などの相談を受けることもあり、包括全体として相談を受けるボリュームが増えてきたということです。

豊川市事務局(浅見補佐)

権利擁護に直結する話題はなかったと思います。話題は多岐にわたり、不登校や精神的なものなどさまざまです。ただ、将来的になるのは 8050 問題であり、権利擁護も関係してくると思います。

西本委員

重層の会議について、予算が縦割りで使いにくく、困ったものを重層で個別具体的に予算の流用を許すという形で大幅に緩和されてきたと思いますが、実際に重層会議を実施し、上手くいった例が出ているのか知りたいです。厚労省からは使用用途を制限せず、何に使ってもよいとなっています。ただ、現場は縦割りなのでなかなか使えない状況です。豊川市でこれを突破するような取り組みはありますか。

豊川市事務局(浅見補佐)

引きこもりになった子またはなりそうな子を農園に繋げ、その子たちにとってはそこが安定場所になり、学校に進学していったという例があります。話題として 1 回会議を開催して、役割を振ったら解決という例はなく、長々と付き合っていくことが多いです。

予算をどう使ったかと訊かれた件については、答えることが難しいところです。介護高齢課の予算で介護高齢課が実施するものであっても、地域福祉課サイドから攻めていくことができる仕組みになっています。いくらどの課にどのくらい予算が動いたかと言われると答えようがないです。多様な活動ができると言われればご指摘のとおりです。

議 長(川島委員)

地域相談の件数も多く、相談を受けたら受けっぱなしというわけにはいかないと思います。相談を受けたらどこへ繋ぐのかを考える必要があります。懸念点は、現場が疲弊していないかという点です。どのように支援を回していくのか、どう支え合っていくのかを評価として報告していただけると心配にならないと思います。また、人材育成の報告について少し偏りがあるように思えます。さまざまな推進員やコーディネーターがたくさん養成されていますが、一人でいくつもの推進委員やコーディネーターを兼任していることやあて職でやっている現状を考えると、支援に携わっている方たちが疲弊していることもあることも踏まえていただきたいと思います。

続きまして「②令和7年度地域福祉懇談会について」事務局から説明をお願いします。

社協事務局(田中課長)

資料3により社協田中課長が令和7年度の地域福祉懇談会の内容について説明。

議 長(川島委員)

ただいま事務局から「②令和7年度地域福祉懇談会について」説明がありました。委員の

皆様からご意見やご質問をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

尾浦委員

資料 3-1 の裏側の災害弱者への関わりについて参加人数 38 名とありますが、災害時に要支援者をどのように対応していけばよいのでしょうか。町内会独自としてそれぞれありますが、八南連区として防災協議会を立ち上げ、災害弱者のスペースをどう確保するか施設をどう使っていくかを今年度から協議し、万が一災害が起きた際に対応できるように考えています。

瀬戸川委員

地域の皆さんの福祉に対する認識が低いように感じています。地区ごとに様相が違いますので、まとめるのが困っているところです。

議長(川島委員)

資料 3-1 のように一覧にすると全部上手くいっているように見えますが、進んでいるところ、進んでいないところと地域格差があると思います。地域格差があるところをどう後押ししていくか、進んでいるところをどうモデル化していくかなど回答があればお願いしたいです。

社協事務局(田中課長)

ソーシャルワーカーは、地域から上がってきた課題をその都度解決するだけでなく、ソーシャルワーカーがその地域に対してどう支援していくかを年次計画を立てて考えていくようにしています。

モデルについては、他地区で参考になる課題があればその地区の方を呼び、懇談会で講師としてお話しいただくようにしています。

議長(川島委員)

それでは次に、「③成年後見制度利用促進計画の令和7年度進捗状況について」事務局より、説明をお願いします。

豊川市事務局(杉本補佐、若生補佐)

資料4により豊川市障害福祉課杉本補佐、介護高齢課若生補佐が成年後見制度利用促進計画の令和7年度進捗状況について説明。

議長(川島委員)

ただいま、事務局から説明がありました「③成年後見制度利用促進計画の令和7年度進捗状況について」委員の皆様からご意見やご質問をいただきたいと思います。

工藤委員

成年後見制度が 2 年後に大きく変わります。後見、補佐がなくなり、補助に一本化されます。ご本人の同意が必要ということは、ご本人の意思決定支援がますます重要になってきます。支援者側もどう関わるかを課題にしていくところであり、地域の方にも浸透していけばよいと思います。

次のアンケートの議題の件ですが、問 25-1 の「成年後見制度について、あなたが知って

いる相談窓口はどこですか。」について、選択肢 13 を認定特定非営利活動法人東三河後見センターに修正お願いします。

鈴木委員

市民後見人について、研修を開催してくれることでやってみたいと思える方が増えてくると思います。今後も継続して行っていただきたいです。

豊川市事務局(杉本補佐)

豊川市では 2 年研修を行っており、1 年目は県でオンライン研修を行い、2 年目は実務研修を行っています。研修自体は 1 日行い、先日事業所へ出向き体験講座も行いました。ちょうど今県の研修が募集中ですので、受講を希望される方は障害福祉課または介護高齢課へお越しください。

議 長(川島委員)

それでは次に、「議題(2)第5次豊川市地域福祉計画策定に向けた取り組みについて①豊川市地域福祉に関する市民アンケートについて」事務局より、説明をお願いします。

豊川市事務局(村川)

資料5により村川が豊川市地域福祉に関する市民アンケートについて説明。

議 長(川島委員)

ただいま事務局から「①豊川市地域福祉に関する市民アンケートについて」説明がありました。委員の皆様からご意見やご質問をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

豊田委員

問 37 の子どもの表記がひらがなですが、他の設問はこどもの「こ」が漢字になっています。表記については、どのようにお考えでしょうか。

豊川市事務局(村川)

漢字かひらがなどちらに統一するか検討します。

尾浦委員

設問のボリュームがかなりありますが、前回の回答率はどのくらいでしょうか。

豊川市事務局(村川)

前回回答率は、40 パーセント、設問数は 43 問でした。

尾浦委員

もしこのアンケートが家に来た時にボリュームが多いので回答しないかもしれません。訊きたいところや住民が関心を持っているところなどをもっと要点を絞って短いアンケートにするべきじゃないでしょうか。

豊川市事務局(村川)

設問数が少しありますので、ボリュームを抑えられるように検討してみます。

議 長(川島委員)

同じ設問を経年的に行うコンフォート調査になりますが、前に比べて今回どうだったかを調べるのが地域福祉計画の推進を図る指標になりますので、前回使ったものをその

まま使うことが必要になってくると思います。

それでは次に議題「②地域福祉活動に関する活動者アンケートについて③福祉団体等ヒアリング調査について」事務局から説明をお願いいたします。

社協事務局(小川補佐)

資料6により社協小川補佐が地域福祉活動に関する活動者アンケート及び福祉団体等ヒアリング調査について説明。

議 長(川島委員)

ただいま事務局から「②地域福祉活動に関する活動者アンケートについて③福祉団体等ヒアリング調査について」説明がありました。委員の皆様からご意見やご質問をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

西本委員

アンケートについて、対象者は特定されませんとありますが、例えば資料 6-1 の調査対象者「エ 会食・配食ボランティア代表者」10 名に訊いたときに、10 名しかいないので特定されやすいのではないかと思います。民生委員ですと、地区によっては数名しかいない地区もあり、性別、年齢、地区まで訊かれると特定されやすいと思います。できる限り対象が特定されにくいしていただきたいです。市のアンケートも同様ですが、ネット回答をとりまとめるのは民間人なので、本当に情報を抜かないか心配です。そのあたりが丁寧に確定されるシステム構築をお願いしたいです。

社協事務局(長畑次長)

西本委員の意見を最大限に配慮しながらアンケート内容を精査していきたいと考えています。ただ、前回との比較も大事にしていきたいので、調整しながら整えていきます。

尾浦委員

先ほど委員長がボランティアの疲弊と言われましたが、高齢になるほど人数が減っている状況の中で、アンケートの 8 番目 9 番目のところは、若いメンバーに興味を持ってほしい、若いメンバーに参加を促す意味合いのものですか。

町内会のサロンには毎回同じ人が出てきており、一番よく出てきてくれるのは、元気なおじいちゃんおばあちゃんです。家に引きこもっている方やテレビのお守りをしている方、もっと言うとフレイルの方に出てきてほしいです。こういうところが活動がマンネリ化しているというところに含まれているのか教えていただきたいです。

社協事務局(小川補佐)

若い人に興味を持っていただきたい及び活動者がどれだけ感じているかを知っておきたいと考えております。前回のアンケートを踏まえて若い人が参加できる仕組みづくりを考えていきたいと思います。

活動がマンネリ化している件ですが、老人クラブにおいてもそのような話が出ております。様々な活動者からご意見いただいて、共通することに合わせて事業を進めていきます。

尾浦委員

若いメンバーが興味を持ちやすいという意味でよかったでしょうか。若いメンバーが参加しやすい活動と読み替えていいのでしょうか。また、マンネリ化している件ですが、ふれあいサロンとは別に高齢者が集まる場所を作ってくれないかという要請がありましたが、その場所を作ってもふれあいサロンと同じ人が集まってきます。本当に出てきてほしい人に出てきてもらう仕組みを作る必要があると思います。例えば、医師会と連携してフレイルの方への支援につながる仕組みです。

議 長(川島委員)

ボランティアコーディネーターが働きかける層には、活動者層に働きかけるのは大事なことです。それだけではなく、潜在活動者層といったボランティアをしてくれるかもしれない人たちにも働きかける必要があると思います。潜在活動者層がどこにいて、その方がボランティアに対してどう思っているのかを掴むとよいです。一般市民アンケートにボランティアの意欲を問う設問は入っていますか。

豊川市事務局(村川)

問 23 がボランティアの意欲を問う設問になっています。

議 長(川島委員)

ボランティアをやったことはないけどその理由や年代を掛け合わせると、ボランティアの働きかけの統計が取れると思います。市民アンケートと活動者アンケートを上手く掛け合わせながら考えていけるとよいです。

豊田委員

活動者アンケートの問23について、選択肢3「デジタル化は望まない」から支援は必要ないという意図だと思いますが、現状デジタル化を行っているので支援が必要ないという選択肢があってもよいと思います。

市民アンケートの問25-1の選択肢7「一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター愛知県支部」を問34にも入れてはどうかと思いました。

野村委員

福祉に関するアンケートに限定されてしまいますが、ボランティアに関することも含めていけるとよいと感じました。ボランティアがボランティアになってきており、集団性がなくなっているのでは、個人をもっと把握しなければいけないと思います。

社協事務局(小川補佐)

推進委員会とは別に市民協働の委員会がありますので、そちらに提言させていただきま

議 長(川島委員)

それでは次に「④令和8年度地域福祉懇談会について」事務局より説明をお願いいたします。

社協事務局(田中課長)

資料7により社協田中課長が令和8年度地域福祉懇談会の内容について説明。

議 長(川島委員)

ただいま事務局から「④令和8年度地域福祉懇談会について」説明がありました。委員の皆様からご意見やご質問をいただきたいと思いますと思いますが、いかがでしょうか。

議 長(川島委員)

それでは最後に、「4 その他」事務局より、なにかありますでしょうか。

西本委員

その他の名目で資料8を出してくることが問題だと思います。議題として説明するべきだと思い、発言させていただきました。

豊川市事務局(村川)

来年度の委員会スケジュール、小委員会について資料8, 9を使用し説明。

西本委員

委託業者選定とありますが、前回計画冊子には委託業者の名前が載っていません。コンサルではなく、地域のみなさんで話し合っって計画を作るべきではないでしょうか。

豊川市事務局(木内課長)

資料8は案ですので、確定ではありません。また、業者選定においてもコンサルに丸投げではなく、思いも載せながら策定していく予定です。

議 長(川島委員)

以上で本日の議題は、すべて終了いたしました。

ご協力ありがとうございました。

最後に、連絡事項があれば、事務局からお願いします。

豊川市事務局(木内課長)

次回の委員会につきましては、令和9年度の開催となります。アンケート結果の資料を作成して委員の皆様にご共有させていただきたいと考えています。

来年度の委員会について、委員の皆様にはお声がかかりましたら、お忙しい中とは存じますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

本日は、長時間にわたりありがとうございました。気を付けてお帰りください。